

事務事業名	社会教育運営事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	生涯学習社会の確立	部門別計画(施策)	社会教育
目的	社会教育委員の運営		
内容	社会教育委員会議、各社会教育関係機関との連携		
根拠法令名	社会教育法		

コスト	区 分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費		184	320	187
	うち一般財源等(千円)	184	320	187	241
	人件費(概算) (千円)				
	総コスト(概算) (千円)	184	320	187	241

活動・成果 指標	名 称	単 位	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
		社会教育委員会議等会議開催	回	3	3	3
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)		61	107	62	80
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					

項目評価	点数	理由・説明等
1 適応性	8	①町民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 ■4 □3 □2 □1
		②事業を町が行う必要性があるか。 ■4 □3 □2 □1
社会教育委員会議を開催し、事業内容の検討を行い、的確な指示を行っている。 社会教育事業に関し指導助言を行う機関として重要である。		
2 有効性	6	③事業の目的に照らして効果的な手法か。 □4 ■3 □2 □1
		④施策等の目的の実現に寄与しているか。 □4 ■3 □2 □1
社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指示を行い事業目的を達成している。		
3 目標達成度	7	⑤目標の水準は適正化か。 ■4 □3 □2 □1
		⑥計画通りに目標を達成できたか。 □4 ■3 □2 □1
豊浦町社会教育中期計画にそって事業を展開し、目的達成を目指している。		
4 経済性 効率性	7	⑦コストは縮減しているか。 ■4 □3 □2 □1
		⑧事務は効率的に行われているか。 □4 ■3 □2 □1
年3回の社会教育委員会議を中心に展開しており、事務も効率的に行われている。		
5 正確性 信頼性	7	⑨安全・正確を確保する手段が講じられているか。 ■4 □3 □2 □1
		⑩説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。 □4 ■3 □2 □1
全道、管内の社会教育委員の会議研修等に出席し、社会教育現場の現状を把握しながら運営を行っている。		

総合評価	合計 ↓ 100点 換算	35 /40	特記 事項	(協働の取組状況)
		88 /100		(環境への負担)
	ランク (A~E)	A	社会教育活動、生涯学習活動は、短期に成果が出るものではないため、継続的活動を行いながら、検討を重ねていくことが必要である。	
外部 評価 委員会 評価	100点 換算	88	学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験者から必要最小限の適材委員を委嘱し、社会教育行政の効率的な事務事業に努めている。	
	ランク (A~E)	A		

事務事業名	社会教育団体支援事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	生涯学習社会の確立	部門別計画(施策)	社会教育
目的	社会教育関係団体の自主的活動の促進を図るため補助する。		
内容	PTA連合会、子ども会育成連絡協議会への事業支援補助		
根拠法令名			

コスト	区 分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費	614	674	438	539
	人件費(概算) (千円)	614	674	438	539
	総コスト(概算) (千円)	614	674	438	539

活動・成果 指標	名 称	単 位	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	社会教育団体数	団体	2	2	2	2
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)		307	337	219	269
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					

項目評価	点数	理由・説明等	
1 適応性	8	①町民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	■4 □3 □2 □1
		②事業を町が行う必要性があるか。	■4 □3 □2 □1
社会教育関係団体の自主的活動の促進のための事業であり、町が行うべきである。			
2 有効性	7	③事業の目的に照らして効果的な手法か。	■4 □3 □2 □1
		④施策等の目的の実現に寄与しているか。	□4 ■3 □2 □1
社会教育関係団体の自主的活動の促進を図るためには、本事業の必要性は大きい。			
3 目標達成度	8	⑤目標の水準は適正化か。	■4 □3 □2 □1
		⑥計画通りに目標を達成できたか。	■4 □3 □2 □1
各団体共、計画通り目標を達成している。			
4 経済性 効率性	6	⑦コストは縮減しているか。	□4 ■3 □2 □1
		⑧事務は効率的に行われているか。	□4 ■3 □2 □1
毎年補助金を削減しているが、補助交付金等を整備し交付決定しなければならない。			
5 正確性 信頼性	7	⑨安全・正確を確保する手段が講じられているか。	■4 □3 □2 □1
		⑩説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。	□4 ■3 □2 □1
事業の運用については安全面に十分配慮し、ほぼ事業計画通り行われている。			

総合評価	合計 ↓ 100点 換算	36 /40 90 /100	特記 事項	(協働の取組状況)
	ランク (A~E)	A		(環境への負担)
子ども会育成会は、子ども会の相互連絡協調をはかり、健全な子どもの育成を目的として活動をしており、団体の自主的な運営や活動を尊重し、現行どおり必要に応じた支援を行う。				
外部 評価 委員会 評価	100点 換算	90	社会教育活動を行う団体の育成助成を行うための補助事業であり、自主的な活動も行われ、成果が得られている。	
	ランク (A~E)	A		

事務事業名	成人高齢者大学事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	生涯学習社会の確立	部門別計画(施策)	社会教育
目的	成人高齢者に喜びと生きがいを持たせることを目的とした学習機会の提供を行う。		
内容	とよら大学(町内在住の60歳以上の方)		
根拠法令名	社会教育法(第3条)、教育改革に関する第二次答申(第1部 第5部(1)(3))		

コスト	区 分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費		123	182	235
	うち一般財源等(千円)	123	182	235	196
	人件費(概算) (千円)				
	総コスト(概算) (千円)	123	182	235	196

活動・成果指標	名 称	単 位	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
		成人高齢者事業数	件	13	13	13
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)		9	14	18	15
	成人高齢者事業参加者数	人				
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					

項目評価		点数	理由・説明等	
1	適応性	8	①町民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	■4 □3 □2 □1
			②事業を町が行う必要性があるか。	■4 □3 □2 □1
対象が高齢者のため、移動機関や公民館などの活動施設を考慮すると町が行うべきである。				
2	有効性	8	③事業の目的に照らして効果的な手法か。	■4 □3 □2 □1
			④施策等の目的の実現に寄与しているか。	■4 □3 □2 □1
人材や学習資源を活用しながら多様な学習機会の確保に努めており、事業成果が認められる。				
3	目標達成度	7	⑤目標の水準は適正化か。	□4 ■3 □2 □1
			⑥計画通りに目標を達成できたか。	■4 □3 □2 □1
成果、実績は、ほぼ目標通りであり、計画したスケジュールにそって達成された。				
4	経済性効率性	8	⑦コストは縮減しているか。	■4 □3 □2 □1
			⑧事務は効率的に行われているか。	■4 □3 □2 □1
事業については、参加者に自己負担をしてもらいコスト低減に努めている。				
5	正確性信頼性	7	⑨安全・正確を確保する手段が講じられているか。	■4 □3 □2 □1
			⑩説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。	□4 ■3 □2 □1
参加者が安全に事業に参加出来るよう考慮している。				

総合評価	合計	38	特記事項	(協働の取組状況)
	100点換算	95		(環境への負担)
	ランク(A~E)	A	とよら大学は毎月1回中央公民館を中心に開設新たに単位制、選択科目の導入を図る。学習会、仲間づくりを通して心豊かな人間性を高めるとともに、交流会や世代間交流といった幼稚園、小学校との交流を通して、健康で明るく生きがいのある日々を送っている。	
外部評価委員会評価	100点換算	95	高齢化が加速化している本町において、高齢者の果たす役割が期待される。とよら大学の中でも地域貢献に対する学習は行われており成果が現れている。	
	ランク(A~E)	A		

事務事業名	社会教育施設事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	生涯学習社会の確立	部門別計画(施策)	社会教育
目的	地域づくりを目指した社会教育の推進を円滑に進めるための施設管理事業		
内容	中央公民館、地区公民館(6)の管理事業		
根拠法令名	豊浦町公民館条例		

コスト	区 分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費		5,580	6,284	6,092
	うち一般財源等(千円)	5,580	6,284	6,092	6,235
	人件費(概算) (千円)				
	総コスト(概算) (千円)	5,580	6,284	6,092	6,235

活動・成果指標	名 称	単 位	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
		中央公民館設利用者数	人	11,153	12,000	10,066
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (円)		500	524	605	566
	地区公民館利用者数	人				
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (円)					
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (円)					

項目評価	点数	理由・説明等	
1 適応性	8	①町民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	■4 □3 □2 □1
		②事業を町が行う必要性があるか。	■4 □3 □2 □1
社会教育施設は、多くの住民の社会参加の拠点となっている。 地区分館については、指定管理者制度としての自治会の受け皿体制が難しいことから、現状の管理体制を維持する。			
2 有効性	7	③事業の目的に照らして効果的な手法か。	■4 □3 □2 □1
		④施策等の目的の実現に寄与しているか。	□4 ■3 □2 □1
利用にあたっては、効率的に利用できるよう配慮している。			
3 目標達成度	7	⑤目標の水準は適正化か。	■4 □3 □2 □1
		⑥計画通りに目標を達成できたか。	□4 ■3 □2 □1
利用に関してはほぼ目的を達しているが、地区分館については、地域の集会所的な使用となっているので、利用頻度は少ない状況になっている。			
4 経済性効率性	7	⑦コストは縮減しているか。	■4 □3 □2 □1
		⑧事務は効率的に行われているか。	□4 ■3 □2 □1
コスト面では自立計画に適合する支出削減を図っている。			
5 正確性信頼性	7	⑨安全・正確を確保する手段が講じられているか。	□4 ■3 □2 □1
		⑩説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。	■4 □3 □2 □1
安全な施設利用をしてもらうため、管理面で注意を行っているが、バリアフリーや老朽化による安全対策が今後の検討課題である。 施設利用状況等については広報等で周知している。			

総合評価	合計	36	特記事項	(協働の取組状況)
	↓	/40		(環境への負担)
	100点換算	90		
		/100		
	ランク(A~E)	A	社会教育施設は、老朽化が進み改修していかなければならない箇所がでてきている。今後、施設利用料の徴収、施設の管理のあり方も協議していかなければならない。	
外部評価委員会評価	100点換算	90	施設が老朽化してきているため、利用者の安全生、快適生に影響があるので、計画的に改善を進めてほしい。	
	ランク(A~E)	A		

事務事業名	公民館主催事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	生涯学習社会の確立	部門別計画(施策)	社会教育
目的	地域に根ざした公民館活動の充実と公民館の有効活用を目指すとともに、生涯学習の一層の推進を図る。		
内容	公民館まつり、各種公民館講座		
根拠法令名	社会教育法		

コスト	区 分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費	122	195	140	223
	うち一般財源等(千円)	122	195	140	223
	人件費(概算) (千円)				
	総コスト(概算) (千円)	122	195	140	223

活動・成果 指標	名 称	単 位	H21決算	H22予算	H21決算	H22予算
	公民館講座事業数	件	10	10	10	10
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)		12	19	14	22
	講座事業参加者数 (延べ人数)	人				
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					

項目評価		点数	理由・説明等	
1	適応性	8	①町民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	■4 □3 □2 □1
			②事業を町が行う必要性があるか。	■4 □3 □2 □1
公民館などの活動施設を考慮すると町が行うべきである。				
2	有効性	7	③事業の目的に照らして効果的な手法か。	□4 ■3 □2 □1
			④施策等の目的の実現に寄与しているか。	■4 □3 □2 □1
公民館講座等の新規加入者の推進を行い、日頃から文化・芸術の意識向上が図られている。				
3	目標 達成度	7	⑤目標の水準は適正化か。	□4 ■3 □2 □1
			⑥計画通りに目標を達成できたか。	■4 □3 □2 □1
地域の文化活動等に対する意識向上に大きな役割を果たしている。				
4	経済性 効率性	7	⑦コストは縮減しているか。	□4 ■3 □2 □1
			⑧事務は効率的に行われているか。	■4 □3 □2 □1
事業については、参加者に自己負担をしてもらいコスト縮減に努めている。				
5	正確性 信頼性	8	⑨安全・正確を確保する手段が講じられているか。	■4 □3 □2 □1
			⑩説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。	■4 □3 □2 □1
参加者が安全に事業に参加出来るよう考慮している。 事業に関しては、広報、新聞等で住民に周知している。				

総合 評価	合計	37	特記 事項	(協働の取組状況)	
	100点 換算	93		(環境への負担)	
	ランク (A~E)	A	公民館講座については、それぞれ特色のある事業を実施しました。生涯学習を实践する町民ニーズに応えるべく要望を把握し、それにあった講座の開発、参加募集方法の工夫等で、広く受講生をふやしていきます。		
外部 評価 委員会 評価	100点 換算	93	地域の人づくりの場として、生涯学習活動がおこなわれており、成果が出でている。		
	ランク (A~E)	A			

事務事業名	青少年健全育成事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	青少年の健全育成	部門別計画(施策)	青少年健全育成
目的	地域における児童生徒の学校外活動の促進と、心身ともに健全な子どもの育成を図る。		
内容	わくわく体験隊		
根拠法令名			

コスト	区 分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費		57	147	75
	うち一般財源負担	57	147	75	158
	人件費(概算) (千円)				
	総コスト(概算) (千円)	57	147	75	158

活動・成果指標	名 称	単位	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
		町内小中学生生徒数	人	279	276	286
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)		0.20	0.53	0.26	0.55
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					

項目評価	点数	理由・説明等
1 適応性	8	① 〓民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 ■4 □3 □2 □1
		② 事業を町が行う必要性があるか。 ■4 □3 □2 □1
青少年育成事業を行っていくことは個々のニーズも多様化しており、難しいところもあるが、各関係団体と連携した事業企画も必要と考える。		
2 有効性	7	③ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 □4 ■3 □2 □1
		④ 施策等の目的の実現に寄与しているか。 ■4 □3 □2 □1
社会や自然体験、環境問題などの関心を高め生きる力を育成する事業として効果的な事業と考えられる。		
3 目標達成度	6	⑤ 目標の水準は適正化か。 □4 ■3 □2 □1
		⑥ 計画通りに目標を達成できたか。 □4 ■3 □2 □1
趣味の多角化により事業参加者が事業によっては参加が少ないことがある。		
4 経済性効率性	7	⑦ コストは縮減しているか。 ■4 □3 □2 □1
		⑧ 事務は効率的に行われているか。 □4 ■3 □2 □1
社会体験等については、個人負担をしてもらいコスト削減に努めている。		
5 正確性信頼性	7	⑨ 安全・正確を確保する手段が講じられているか。 ■4 □3 □2 □1
		⑩ 説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。 □4 ■3 □2 □1
子どもたちの活動が主であり、安全確保を充分に行って、保護者への事前説明を適切に行っている。		

総合評価	合計	35	特記事項	(協働の取組状況)
	↓ 100点 換算	88		(環境への負担)
	換算	/40		
	換算	/100		
	ランク (A~E)	A	青少年の健全育成及び非行防止を進めるため多くの人が活動の内容を周知し、町民、各種団体等との連携を強化していきたい。	
外部評価委員会評価	100点換算	88	子どもたちの体験学習に大きな成果が得られているが、会員や参加者の減少で、今後の活動内容について、見直しの必要がある。	
	ランク (A~E)	A		

事務事業名	学童保育運営事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	青少年の健全育成	部門別計画(施策)	青少年健全育成
目的	放課後保育に欠ける児童等の保育及び指導を行う、放課後児童保育所(民間)に補助を行う。		
内容	学童保育(青空キッズクラブ)の委託運営事業		
根拠法令名			

コスト	区 分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費		3,887	3,887	3,887
	うち一般財源負担	2,436	2,797	2,202	2,202
	人件費(概算) (千円)				
	総コスト(概算) (千円)	3,887	3,887	3,887	3,887

活動・成果 指標	名 称	単 位	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
		入所児童数	人	28	25	25
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)		138	138	138	138
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					

項目評価	点数	理由・説明等	
1 適応性	8	①町民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	■4 □3 □2 □1
		②事業を町が行う必要性があるか。	■4 □3 □2 □1
子育て支援として保育サービスの提供は必要である。			
2 有効性	8	③事業の目的に照らして効果的な手法か。	■4 □3 □2 □1
		④施策等の目的の実現に寄与しているか。	■4 □3 □2 □1
民間に委託し、今後も待機児童を解消するため、施設の拡充等が必要である。			
3 目標達成度	8	⑤目標の水準は適正化か。	■4 □3 □2 □1
		⑥計画通りに目標を達成できたか。	■4 □3 □2 □1
ほぼ目標どおり開設しているが、学童保育への入所希望が年々増加中である。			
4 経済性 効率性	8	⑦コストは縮減しているか。	■4 □3 □2 □1
		⑧事務は効率的に行われているか。	■4 □3 □2 □1
事業については、各受入児童から利用料を自己負担してもらい低減に努めている。			
5 正確性 信頼性	7	⑨安全・正確を確保する手段が講じられているか。	■4 □3 □2 □1
		⑩説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。	□4 ■3 □2 □1
入園児童が安心、安全な学童保育を進めており、適切な施設運営を行っている。			

総合評価	合計	39	特記 事項	(協働の取組状況)
	↓ 100点 換算	98		(環境への負担)
	換算	/100		
	ランク (A~E)	A	安心、安全な学童保育を進めるため現状を維持していくことが適切であり、小学生低学年児童の保育として、成果が得られている。	
外部 評価 委員会 評価	100点 換算	98	町民に学童保育事業が認知され、ほぼ目標どおり施設を開設し、毎年児童が入会できている。	
	ランク (A~E)	A		

事務事業名	体育指導員運営事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	スポーツ活動の促進	部門別計画(施策)	社会体育
目的	住民と行政のパイプ約として、住民のスポーツニーズを行政に反映させ、地域のリーダーとして地域スポーツの促進を図る。		
内容	豊浦体育指導委員(10名)会議、胆振管内体育指導委員連絡協議会		
根拠法令名	スポーツ振興法、豊浦町体育指導委員に関する条例。		

コスト	区分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費		126	225	161
	うち一般財源等(千円)	126	225	161	115
	人件費(概算)(千円)				
	総コスト(概算)(千円)	126	225	161	115

活動・成果指標	名称	単位	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
		体育指導委員数	人	10	10	10
	単位当たりコスト【総コスト/指標】(千円)		12	22	16	11
	単位当たりコスト【総コスト/指標】(千円)					
	単位当たりコスト【総コスト/指標】(千円)					

項目評価	点数	理由・説明等
1 適応性	8	①町民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		②事業を町が行う必要性があるか。 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
体育指導委員は、実技指導のみならず地域のスポーツ振興を担うため、委員会を機能させるのは、町が行う必要がある。 体育指導委員は法律上、市町村教育委員会が委嘱すると定められており、町が行う必要がある。		
2 有効性	7	③事業の目的に照らして効果的な手法か。 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		④施策等の目的の実現に寄与しているか。 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
体育指導委員は、町民に対しスポーツの指導助言などを行っており、その活動は町民のスポーツ参加機会につながる。		
3 目標達成度	8	⑤目標の水準は適正化か。 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		⑥計画通りに目標を達成できたか。 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
計画どおり事業を実施しており、目標は達成している。		
4 経済性効率性	7	⑦コストは縮減しているか。 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		⑧事務は効率的に行われているか。 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
事務も効率的に行われている。		
5 正確性信頼性	7	⑨安全・正確を確保する手段が講じられているか。 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		⑩説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
事業などで実技指導を行う前に、体育指導委員の研修会等を開催して指導者の充実を図っている。		

総合評価	合計	37	特記事項	(協働の取組状況)
	↓100点換算	93		(環境への負担)
	換算	/100		
	ランク(A~E)	A	町主催のスポーツイベントでは企画から開催まで幅広く参画しており、又ニュースポーツの普及など活躍されている。	
外部評価委員会評価	100点換算	93	住民のスポーツの振興に関し、町の行う社会体育、スポーツ振興事業の企画や推進を積極的に行っている。	
	ランク(A~E)	A		

事務事業名	スポーツ振興事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	スポーツ活動の促進	部門別計画(施策)	社会体育
目的	地域におけるスポーツ活動を活性化するとともに生涯スポーツの振興を図る。		
内容	自治会対抗バレーボール大会、生涯スポーツ大会の実施		
根拠法令名			

コスト	区 分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費	103	131	123	151
	うち一般財源等(千円)	103	131	123	151
	人件費(概算) (千円)				
総コスト(概算) (千円)		103	131	123	151

活動・成果 指標	名 称	単 位	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	スポーツ大会開催数	回	2	2	2	2
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)		51	65	61	75
	スポーツ大会参加者数	人				
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (円)					
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (円)					

項目評価	点数	理由・説明等	
1 適応性	7	①町民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	■4 □3 □2 □1
		②事業を町が行う必要性があるか。	□4 ■3 □2 □1
容易に大会へ参加できる環境を整えることが必要であり、生涯スポーツ推進の観点からも妥当である。			
2 有効性	8	③事業の目的に照らして効果的な手法か。	■4 □3 □2 □1
		④施策等の目的の実現に寄与しているか。	■4 □3 □2 □1
事業については行政が中心となって行い、関係機関はサポートする形で行っている。 スポーツに対する関心が深まる中で事業を行い成果をあげている。			
3 目標達成度	7	⑤目標の水準は適正化か。	□4 ■3 □2 □1
		⑥計画通りに目標を達成できたか。	■4 □3 □2 □1
豊浦町社会教育中期計画にそって事業を展開し目標達成を目指している。 計画どおり事業を展開しており、目標はほぼ達成している。			
4 経済性 効率性	8	⑦コストは縮減しているか。	■4 □3 □2 □1
		⑧事務は効率的に行われているか。	■4 □3 □2 □1
事情の効率性を考えながら無駄を無くし参加しやすい事業を展開している。			
5 正確性 信頼性	8	⑨安全・正確を確保する手段が講じられているか。	■4 □3 □2 □1
		⑩説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。	■4 □3 □2 □1
大会中の事故に対応するため、参加者にスポーツ保険の加入を促進する。 事業に関しては、広報等で住民に周知している。			

総合評価	合計	38	特記事項	(協働の取組状況)
	↓ 100点 換算	95		(環境への負担)
	ランク (A~E)	A	スポーツの経験や関心のない人達に、スポーツの楽しさ、大切さを伝え、底辺をさらに拡大することが今後の課題である。	
外部 評価 委員会 評価	100点 換算	95	事業内容等を見直し、参加者が気軽に参加できるよう工夫して継続する必要がある。	
	ランク (A~E)	A		

事務事業名	学校開放事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	スポーツ活動の促進	部門別計画(施策)	社会教育
目的	学校体育施設の開放により、地域スポーツ、生涯スポーツの振興を図る。		
内容	町内各小学校の学校開放		
根拠法令名	豊浦町学校施設の開放に関する規則		

コスト	区 分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費		319	444	294
	うち一般財源等(千円)	319	444	294	444
	人件費(概算) (千円)				
	総コスト(概算) (千円)	319	444	294	444

活動・成果 指標	名 称	単 位	H21決算	H21予算	H22決算	H23予算
		学校開放数(大岸小・礼文華小・大和小)	校	3	3	3
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)		106	148	98	148
	開放利用者数((大岸小・礼文華小)	人				
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					
		人				
	単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)					

項目評価	点数	理由・説明等
1 適応性	8	①町民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 ■4 □3 □2 □1
		②事業を町が行う必要性があるか。 ■4 □3 □2 □1
学校施設であることから、管理運営上からも町が行うべき。		
2 有効性	7	③事業の目的に照らして効果的な手法か。 ■4 □3 □2 □1
		④施策等の目的の実現に寄与しているか。 □4 ■3 □2 □1
いずれの地域もスポーツセンターからはなれていることから、地域における活動拠点は必要である。学校の教育活動に支障がない範囲で地域住民に開放し、健康・体力づくりの場として提供している。		
3 目標達成度	7	⑤目標の水準は適正化か。 ■4 □3 □2 □1
		⑥計画通りに目標を達成できたか。 □4 ■3 □2 □1
学校体育施設の利用については、成果、実績は、ほぼ目的どおりに達成されている。		
4 経済性 効率性	8	⑦コストは縮減しているか。 ■4 □3 □2 □1
		⑧事務は効率的に行われているか。 ■4 □3 □2 □1
現行の実施手法で適正と考える。		
5 正確性 信頼性	8	⑨安全・正確を確保する手段が講じられているか。 ■4 □3 □2 □1
		⑩説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。 ■4 □3 □2 □1
参加者が安全に開放事業に参加できるよう考慮している。土曜開放については、地域によって温度差があり今後検討が必要。		

総合評価	合計	38	特記事項	(協働の取組状況)
	↓ 100点 換算	95		(環境への負担)
	換算	/100		
	ランク	A	学校開放に際して、生涯スポーツ社会づくりを進めていく上で、活動場所の確保は必要不可欠である。	
外部 評価 委員会 評価	100点 換算	95	開放している礼文華小、大岸小、大和小の3ヶ所とも利用が減少し、地域の実情を確認して、今後の活動に生かすことが必要である。	
	ランク	A		
	(A~E)			

事務事業名	スポーツ施設管理事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	スポーツ活動の促進	部門別計画(施策)	社会体育
目的	スポーツ施設を良好な状態に保ち、スポーツ活動の場を維持し管理運営を行う。		
内容	スポーツセンター(町民グランド・町民テニスコート含む)、ふるさとドームの維持管理運営		
根拠法令名	豊浦町ファミリースポーツセンター設置条例		

コスト	区 分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費	12,735	12,582	14,836	12,739
	うち一般財源等(千円)	12,735	12,582	14,836	12,739
	人件費(概算) (千円)				
	総コスト(概算) (千円)	12,735	12,582	14,836	12,739

活動・成果 指標	名 称	単 位	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	各施設利用人数	人	32,067	35,000	34,341	35,000
		単位当たりコスト【総コスト/指標】 (円)	397	393	432	363
		単位当たりコスト【総コスト/指標】 (円)				
		単位当たりコスト【総コスト/指標】 (円)				

項目評価	点数	理由・説明等	
1 適応性	8	①町民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	■4 □3 □2 □1
		②事業を町が行う必要性があるか。	■4 □3 □2 □1
誰でも気軽にスポーツを楽しむ機会を与えるために、使いやすい施設の整備を行い、スポーツの振興を図るためには重要である。 管理については臨時職員での管理となっているが、指定管理者による管理運営も考慮すべきである。			
2 有効性	8	③事業の目的に照らして効果的な手法か。	■4 □3 □2 □1
		④施策等の目的の実現に寄与しているか。	■4 □3 □2 □1
昼夜を問わず利用されており、スポーツ振興と住民の体力づくりに成果をあげている。			
3 目標達成度	7	⑤目標の水準は適正化か。	■4 □3 □2 □1
		⑥計画通りに目標を達成できたか。	□4 ■3 □2 □1
効率的かつ適切な管理運営が図られている。			
4 経済性 効率性	7	⑦コストは縮減しているか。	■4 □3 □2 □1
		⑧事務は効率的に行われているか。	□4 ■3 □2 □1
極力無駄を省き施設の管理を行っている。 事務的には臨時職員等を配置し、効率の良い運営を行っている。			
5 正確性 信頼性	8	⑨安全・正確を確保する手段が講じられているか。	■4 □3 □2 □1
		⑩説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。	■4 □3 □2 □1
施設の保安・点検を確実に実行し、施設の利用状況等については広報で、町民に周知している。			

総合評価	合計	38	特記事項	(協働の取組状況)
	100点換算	95		(環境への負担)
	ランク(A~E)	A	町民サービスの向上と施設を波及効果快適に利用できる環境づくりに寄与している。 体育施設は建設年数が経過しており老朽化が激しが、修繕をしながら使用している。	
外部評価 委員会 評価	100点換算	95	スポーツを親しむ場所を提供することで、より多くの人にスポーツを体験してもらい、いつでも健康体力づくりに寄与している。また、利用者に対する対応も向上している。	
	ランク(A~E)	A		

事務事業名	スポーツ団体支援事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	スポーツ活動の促進	部門別計画(施策)	社会体育
目的	スポーツ関係団体の自主的活動の促進を図るため補助する。		
内容	スポーツ少年団、体育協会への事業支援補助		
根拠法令名			

コスト	区 分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費	1,104	1,104	1,104	1,104
	うち一般財源等(千円)	1,104	1,104	1,104	1,104
	総コスト(概算)(千円)	1,104	1,104	1,104	1,104

活動・成果 指標	名 称	単 位	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	スポーツ団体数	団体	2	2	2	2
		単位当たりコスト【総コスト/指標】(千円)	552	552	552	552
		単位当たりコスト【総コスト/指標】(千円)				
		単位当たりコスト【総コスト/指標】(千円)				

項目評価		点数	理由・説明等	
1	適応性	7	①町民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	■4 □3 □2 □1
			②事業を町が行う必要性があるか。	□4 ■3 □2 □1
		各団体活動が、本町のスポーツ振興の中心的役割を担っているため、団体への支援は必要不可欠です。		
2	有効性	7	③事業の目的に照らして効果的な手法か。	■4 □3 □2 □1
			④施策等の目的の実現に寄与しているか。	□4 ■3 □2 □1
		スポーツ関係団体の自主的活動の促進を図るためには、本事業の必要性は大きい		
3	目標達成度	8	⑤目標の水準は適正化か。	■4 □3 □2 □1
			⑥計画通りに目標を達成できたか。	■4 □3 □2 □1
		各団体が幅広い活動をすることによって、スポーツを楽しむ人が増加する結果となっている。		
4	経済性 効率性	7	⑦コストは縮減しているか。	□4 ■3 □2 □1
			⑧事務は効率的に行われているか。	■4 □3 □2 □1
		毎年補助金を削減しているが、補助交付金等を整備し交付決定しなければならない。		
5	正確性 信頼性	7	⑨安全・正確を確保する手段が講じられているか。	■4 □3 □2 □1
			⑩説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。	□4 ■3 □2 □1
		事業の運用については、事業計画通り行われている。		

総合評価	合計 ↓ 100点 換算	36 /40 90 /100	特記 事項	(協働の取組状況)
	ランク (A~E)	A		(環境への負担)
				各団体が幅広い活動をすることによって、スポーツを楽しむ人が増加する結果となっています。
外部 評価 委員会 評価	100点 換算	90	今後も子どもたちのスポーツへの関心が高まること、興味がある人がスポーツをする場の提供、	
	ランク (A~E)	A	スポーツ活動の推進等多くの人が携わることが出来る場を提供することが必要。	

事務事業名	文化振興事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	芸術・文化活動の促進と文化遺産の保存・活用	部門別計画(施策)	文化振興
目的	各文化団体の活性化と連携交流を図る。		
内容	文化団体への補助		
根拠法令名			

コスト	区 分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費	396	602	456	602
	うち一般財源等(千円)	396	602	456	602
	人件費(概算) (千円)				
	総コスト(概算) (千円)	396	602	456	602

活動・成果 指標	名 称	単 位	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	支援金	件	1	1	1	1
		単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)	396	602	456	602
		単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)				
		単位当たりコスト【総コスト/指標】 (千円)				

項目評価		点数	理由・説明等	
1	適応性	8	①町民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	■4 □3 □2 □1
			②事業を町が行う必要性があるか。	■4 □3 □2 □1
文化芸術活動は心の豊かさや生きがいなどから町民ニーズの高い事業である。				
2	有効性	7	③事業の目的に照らして効果的な手法か。	■4 □3 □2 □1
			④施策等の目的の実現に寄与しているか。	□4 ■3 □2 □1
発表会や鑑賞事業などを実施しており、効果的である。				
3	目標達成度	7	⑤目標の水準は適正化か。	□4 ■3 □2 □1
			⑥計画通りに目標を達成できたか。	■4 □3 □2 □1
計画した事業はほぼ予定の期日で完了した。				
4	経済性 効率性	6	⑦コストは縮減しているか。	□4 ■3 □2 □1
			⑧事務は効率的に行われているか。	□4 ■3 □2 □1
活動は必要最低限で行っているが、今後とも内容を精査する必要がある。				
5	正確性 信頼性	7	⑨安全・正確を確保する手段が講じられているか。	□4 ■3 □2 □1
			⑩説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。	■4 □3 □2 □1
団体との協同により、鑑賞事業などを実施している。活動などは、広報等で周知を行っている。				

総合評価	合計	35	特記事項	(協働の取組状況)
	↓ 100点 換算	88		(環境への負担)
	↓ 換算	/40		
	↓ 換算	/100		
	ランク (A~E)	A	芸術文化活動を広めていくためにも団体への支援は必要であり、今後も活動内容の周知を行っていくとともに目標水準を高めていく。	
外部 評価 委員会 評価	100点 換算	88	毎年「とよらの文化」の発行や、町総合文化祭等を開催しており、豊浦町文化芸術の振興や高揚が図れている。	
	ランク (A~E)	A		

事務事業名	図書館活動事業	担当課名	生涯学習課
基本事業(施策)名	芸術・文化活動の促進と文化遺産の保存・活用	部門別計画(施策)	文化振興
目的	多くの町民に読者の普及を図る。		
内容	新刊図書等を購入し公民館図書室の充実を図る。		
根拠法令名			

コスト	区 分	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
	事業費		1,710	1,693	1,662
	うち一般財源等(千円)	1,710	1,693	1,662	1,693
	人件費(概算) (千円)				
	総コスト(概算) (千円)	1,710	1,693	1,662	1,693

活動・成果 指標	名 称	単 位	H21決算	H22予算	H22決算	H23予算
		図書室利用者数	人	4,122	4,000	3,963
	単位当たりコスト【総コスト/指標】	(円)	414	423	419	423
		冊				
	単位当たりコスト【総コスト/指標】	(円)				
	単位当たりコスト【総コスト/指標】	(円)				

項目評価	点数	理由・説明等
1 適応性	8	①町民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		②事業を町が行う必要性があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
社会教育施設であることから、管理運営上からも町が行うべきである。 図書室モニターの導入で改善されつつある。		
2 有効性	7	③事業の目的に照らして効果的な手法か。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		④施策等の目的の実現に寄与しているか。 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
図書室の利用にあたっては、効率的に利用できるよう配慮している。		
3 目標達成度	7	⑤目標の水準は適正化か。 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		⑥計画通りに目標を達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
利用に関しては毎年増加傾向であり、ほぼ目標を達している。		
4 経済性 効率性	8	⑦コストは縮減しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		⑧事務は効率的に行われているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
町内の移動図書を行い、蔵書を効率的に活用してコスト削減を図っている。		
5 正確性 信頼性	7	⑨安全・正確を確保する手段が講じられているか。 <input type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
		⑩説明責任を果たすために適切な情報提供がされているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1
施設の利用状況や、新刊図書情報は、広報や図書通信などで町民に周知している		

総合評価	合計 ↓ 100点 換算	37 /40 93 /100	特記 事項	(協働の取組状況)
	ランク (A~E)	A		(環境への負担)
今後も、町民の生涯学習の場として計画的に蔵書数を拡大すべきである。				
外部 評価 委員会 評価	100点 換算	93		ブックスタート事業、町内の移動図書や図書通信等で利用者の拡大に努めており成果が得られている。
	ランク (A~E)	A		